



下関市 Shimonoseki City



「人は人との関わりの中で育つ」

下関市教育委員会 白岡 勝典

下関市内71の小中学校を対象校として、「学校運営協議会」の充実と「ふるさと下関協育ネット」活性化のお手伝いをさせていただいています。「人は人との関わりの中で育つ」と言いますが、それは子供たちだけでなく大人も一緒です。この仕事を通して、地域を愛し地域に誇りをもつ多くのコミュニティ・スクール関係者と関わることができました。どうやら私自身が一番育てられているのかもしれない。

下関市の推進構想

下関市では、「下関市コミュニティ・スクール運営要綱」(平成24年4月1日施行)を定め、平成24年度中に市内全小・中学校をコミュニティ・スクールに指定しました。各学校においては、学校の課題解決に向けて、地域住民、保護者や教職員による熟議の開催や様々な支援活動が行われるなど、「地域とともにある学校」をめざした特色ある取組が進められてきました。

そして、平成26年7月には「下関市学校運営協議会規則」を定め、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づいて市内全小・中学校に学校運営協議会を設置いたしました。

さらに、平成26年8月5日に、「全国コミュニティ・スクール研究大会in下関」を開催し、全国各地から、1,300人を超える方々の参加があり、関係団体、学校関係者の協力を得て、盛会のうちに幕を閉じることができました。

平成27年度には、市内全ての小・中学校にコミュニティ・スクールコーディネーターの配置が完了しました。コーディネーターの活躍により、学校と地域のお互いのニーズが効率的かつ的確に集約され、学校と地域のつながりがより密接になりました。その結果、中学校区での小・中合同熟議の開催、学校行事への地域の方々の参加、学校による地域の方々を対象にした公開講座など、学校と地域が一体となり、「地域社会総がかりによる教育」が進んできた実感しております。

平成29年度は、下関商業高等学校のコミュニティ・スクールがスタートし、地域や企業との連携を通じて教育内容の充実をはかるとともに、地域の活性化をめざしているところです。下関市教育委員会では、本年度を、「コミュニティ・スクール充実の年 ～地域に開かれ「地域とともにある学校」をめざして～」と位置付けました。各学校における特色ある活動のさらなる充実を通して、「ふるさとを愛する心」の育成や「地域の担い手」としての意識の高揚をめざし、山口県が推進している「やまぐち型地域連携教育推進事業」に取り組んでおります。

小・中・高等学校がさらに連携し、地域の方々と協働していくことが、子供たちの育ちと学びを支えていくうえで、一番の原動力だと考えております。

～地域とともにある学校をめざして～

下関市の コミュニティ・スクール

下関市教育委員会では、同じ中学校区内の小中学校が連携・協働を図るとともに、地域の人々と目標(めざす子供像・学校教育目標等)を共有しながら、一体となって子供たちを育てて

平成30年度 コミュニティ・スクール充実の年 ～地域に開かれ「地域とともにある学校」をめざして～

学校運営協議会の機能向上

●「9年間の学びと育ち」を意識した学校運営協議会の実施

- ・学校運営に関する協議と学校評価への取組の充実
- ・学校の課題解決に向けた地域住民を交えた熟議や研修会の開催
- ・児童生徒の成長・変化や家庭・地域へのコミュニティ・スクール周知等に係る情報発信の工夫(CS通信・学校HP等)

学校応援団の組織化と小中連携の充実

●学校(児童生徒)に必要な支援内容の明確化と計画的な実施

- ・地域住民が学校に集まる仕掛けづくり
- ・各中学校区における地域連携カリキュラムに関する情報共有
- 中学校区での教職員組織と学校運営協議会の連携促進
- ・「9年間の学びと育ち」を意識した児童生徒の実態に応じた取組の推進
- ・地域住民・保護者への積極的な情報提供
- ・ふるさと下関協育ネットやまちづくり協議会等の諸団体との連携

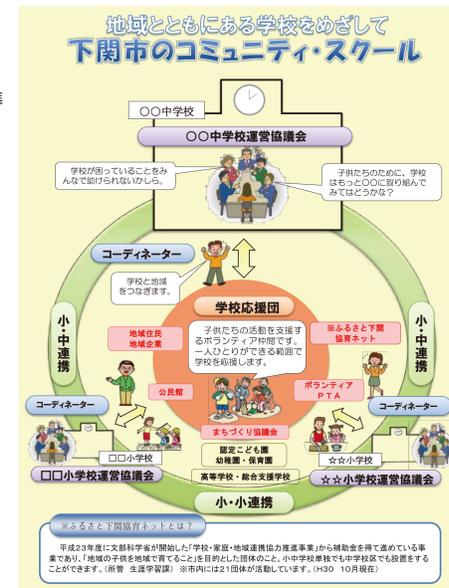
コーディネーターの活動促進

●コーディネーターと連携した多様な学習活動の推進

- ・コーディネーターと学校との日常的な情報交換
- ・コーディネーターによる地域や保護者への積極的な情報発信
- ・学校と地域をつなぐコーディネーターの育成(コーディネーター情報交換会の開催)
- ・中学校区のコーディネーター連絡会の開催

やまぐち型地域連携教育推進事業の活用(全22中学校区対象)

- 地域連携教育アドバイザーの活用
- ・3つの機能の充実(学校運営・学校支援・地域貢献)
- ・中学校区でのテーマの設定
- ・小中での共通項目をもった学校評価の実施
- ・9年間の学びを意識した指導(合同研修会や小中連携カリキュラムの活用)
- ・学校運営協議会の合同開催



学校運営に係る取組

学校支援に係る取組

地域貢献に係る取組

学校(園)が連携した地域ぐるみの取組

取組



下関市立勝山中学校区

「リアル熟議inかつやま」の今年度のテーマは～安心安全で住みよい勝山「みんなで作ろう安全マップ」～。中学生はもとより小学生も参加して熱心に協議しました。



下関市立豊田下小学校

全学級の授業参観後の学校運営協議会には全教職員とPTA役員が参加。前期の学校評価集計結果をもとに、学校・地域課題の解決に向けて熟議を行いました。



下関市立角島小学校

角島の伝統漁法「かご網漁」。児童の「ふるさとを愛する心」の育成をめざし、地元漁師の協力を得て漁業体験。獲れた魚を捌く料理教室も実施しました。



下関市立豊北中学校

学校運営協議会主催の「地域の達人に学ぼう!」、「読書感想文の書き方教室」など、地域の達人が児童生徒の悩みを解決。今年も高校生のボランティアが協力してくれました。



下関市立文洋中学校区

下関市「安全・安心の日」に併せて、文洋中学校区の小・中学校が登校時に共通して、挨拶・ゴミ拾い運動の「おはピカDAY」を行っています。



下関市立西市小学校

「ホテル舟発祥の地豊田町」5、6年生がホテル船や乗船場所の清掃活動を行っています。また、運航の前日には6年生と保護者が乗船体験も。



下関市立内日中学校区

小中合同学校運営協議会の熟議で提案された「地域ぐるみのあいさつ運動」。まちづくり協議会や自治会と連携して毎月第3木曜日に実施しています。



下関市立吉見中学校区

地域合同津波避難訓練を、消防団や見守り隊、自衛隊や消防署、警察署や水産大 学校などの本格的な支援を受けて、吉見、吉母、蓋井の3地区で実施しています。